

2009年5月12日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社 JR 東日本ステーションリテイリング

変わる日暮里駅、進化するエキナカ「エキュート日暮里」

～2009年6月20日(土)OPEN～

変化を続ける日暮里駅に地域文化の魅力発信として、コンパクトな新エキナカ空間(約300㎡)を創造し、「エキュート日暮里」がスケールアップしてOPENします。

「みんなでつくるエキュート日暮里MAP(仮称)」を駅構内に設置し、日暮里駅周辺の魅力の情報発信を行い、「人」と「街」をつなげるきっかけづくりを行います。

エキナカ店舗屋上において「屋上緑化」を行うなど、環境負荷の軽減に取り組みます。

- ・日暮里は下町情緒にあふれる街として人気が高く、都心と千葉・茨城方面を結ぶ玄関口として、多くの乗り換えのお客さまが利用するターミナル駅です。
- ・2008年3月、日暮里・舎人ライナー開業に合わせ、バリアフリー整備と北口改札内外のコンコース拡幅による混雑緩和を実施し、使いやすく、快適な駅へ生まれ変わりました。
- ・2008年12月、京成線日暮里駅の連絡改札口改良により、乗り換えがさらに便利になり、海外への玄関口としての役割がますます高まっています。

江戸の昔、風流を好む人びとが競って訪れた“ひぐらしの里”日暮里の「地域に培われた文化・ゆるやかな生活スタイル」を紹介すると共に駅利用者に利便性を提供するコンパクトな新エキナカ空間を創造します。

将来的には街の変化にあわせ、中央連絡通路までの改札内コンコースの更なる拡大を目指しています。

「エキュート日暮里」店舗概要

【開発運営】	(株)JR東日本ステーションリテイリング
【所在地】	東京都荒川区西日暮里2-19 JR日暮里駅構内
【売場面積】	約387㎡(既存開業部分 約156㎡含む)
【ショップ数】	既存2店舗(リプロ・東京バックハウス)にプラスして、新たに16店舗開業
【売上想定】	年間 約18億円(初年度 約15億円)

ストアコンセプト:「不易流行(ふえきりゅうこう)」

- ・自分なりの個性を大事にし、毎日を過ごす駅利用者の利便性を高める機能に焦点を当てます。
- ・急速に進化する時代の中で“いつものだけど新しい「エキナカ」”での生活習慣を提案します。

みんなでつくるエキュート日暮里MAP(仮称)

日暮里駅をご利用になるお客さまに、日暮里駅周辺の情報を掲載した情報MAPを活用していただき、日暮里の魅力伝えるお手伝いをいたします。

MAPは駅構内に設置し、お客さまからインターネットなどで寄せられたオススメ(名所・お店・景色)情報によって、随時更新します。

日暮里駅周辺は、江戸から明治への古き良き面影や下町情緒を残す街として「旧安田楠雄邸」や「夕焼けだんだん」、「日暮里繊維街」など豊富な地域資源にあふれる街です。地域のランドマークとしての駅からの情報発信を行います。

環境負荷軽減への取り組み

エキュート日暮里の屋上で屋上緑化を行います。

館内基本照明はすべてLEDを採用します。

ゴミの100%リサイクルを目指します。

参 考

【日暮里駅のデータ】

一日平均乗降人員(JR東日本) 162,888人(2007年度・JR東日本管内第49位)

乗り入れ・接続・・・京浜東北線、常磐線、成田線、山手線、京成電鉄、日暮里・舎人ライナー(2008年3月31日現在)
沿革・・・

1905年(明治38年)4月1日	日暮里駅開業
1909年(明治42年)	山手線開通
1931年(昭和6年)	京成電鉄(青砥～日暮里間)開業
1989年(平成元年)	南口開設
2008年(平成20年)	日暮里・舎人ライナー開業

【ecute(エキュート)とは】

(株)JR東日本ステーションリテイリングが開発運営を行う、エキナカ商業空間の名称。鉄道施設を含めた駅の環境計画から、商業施設のMD(マーチャндаイジング)、取引先の選定、売場マネジメント、販売促進などを一貫して行う「駅構内開発小売業」という新しいビジネスモデルを推進。

ecuteとは、「eki」「center」「universal」「together」「enjoy」という5つの単語を、“駅を中心にあらゆる人々が集い楽しむ快適空間”に生まれ変わることを願う意味を込め組み合わせさせた造語で、その音感から「楽しいことがキューっと詰まっている駅」を表す。

エキュート大宮概要

- 所在地 埼玉県さいたま市大宮区錦町630番地
- 売場面積 約2,300㎡
- 店舗数 73店舗

エキュート品川概要

- 所在地 東京都港区高輪三丁目26番27号
- 売場面積 約1,600㎡
- 店舗数 46店舗

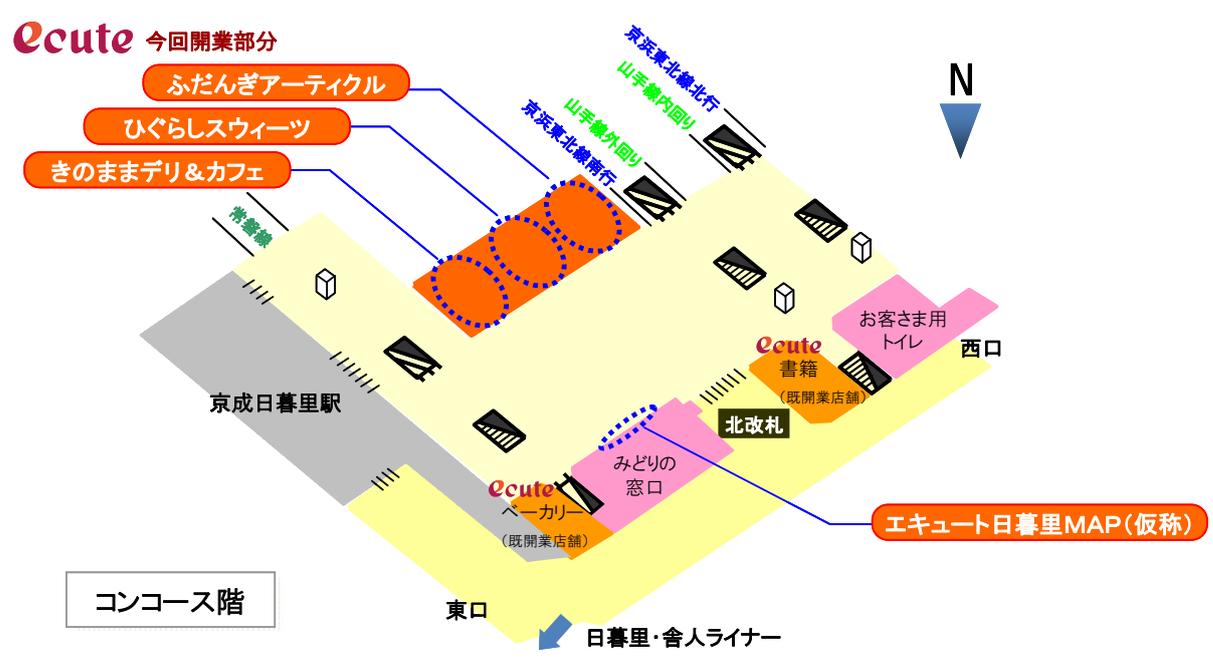
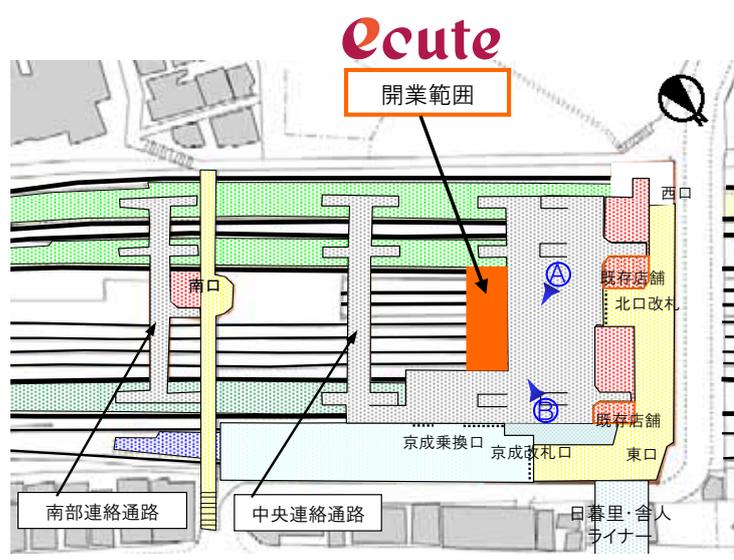
エキュート立川概要

- 所在地 東京都立川市柴崎町三丁目1番1号
- 売場面積 約4,300㎡
- 店舗数 92店舗

開発運営会社

- 商号 (株)JR東日本ステーションリテイリング
- 本社所在地 東京都港区北青山二丁目7番9号
- 代表取締役社長 江越 弘一
- 資本金 480百万円(東日本旅客鉄道株式会社 100%出資)
- 設 立 2003年9月12日

○ ショップゾーン紹介



- ◆ **ひぐらしスイーツ**
 (想定アイテム: 和菓子、洋生焼菓子)
 流行にとらわれず、年月を経ても愛され続ける魅力を持った逸品おやつや、作り手の思いや温かさを感じられるスイーツを展開していきます。
- ◆ **ふだんぎアーティクル**
 (想定アイテム: 服飾雑貨・フラワー)
 お気に入りのお店を訪れるように、毎日利用するたびに「ちょっと嬉しい」が見つかる場所を提案していきます。
- ◆ **きのままデリ&カフェ**
 (想定アイテム: 和洋惣菜・おにぎり・ベーカリー)
 利用する時間帯、シーンに合わせて、同じお店でも異なる使いみちを提案していきます。

○ 環境デザインコンセプト : 「Shi.ta.ma.chi.MODERN」

- ・新しい下町スタイルを表現しました。
- ・下町の活気ある明るくにぎやかなイメージをモダンに表現したデザインと、伝統に流行を取り入れた、遊び心のある空間づくりをいたします。



㊤ 今回開業イメージ



㊦ 今回開業イメージ